



春日井ロータリークラブ 創立45周年記念式典



45周年記念式典

会長挨拶 会長 屋嘉比良夫君

本日私共春日井ロータリークラブ創立45周年記念式典を迎えるにあたり、ご多忙中にも拘らず、春日井市長、伊藤 太様を始め、この様に多数の御来賓の方々に、ご臨席賜りまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私共のクラブは、小牧ロータリークラブ様のスポンサーの下に1969年4月28日に創立されました。この45年の間、ロータリークラブの理想とする「超我の奉仕」の精神に基づいて会員共々研鑽に努め、地域社会及び国際社会において積極的に活動して参りました。

今年度は、継続事業はもとより、恒例の事業等を行うと共に、45周年記念事業として、春日井福祉の集いにおけるサボテン鉢植え体験事業、春日井市緑地公園への「ニュートンのリンゴの木」の苗木の植樹式、フィリピン、セブ島における小学校への水洗トイレの寄贈、会員有志によるセブ島中学生17名への奨学金寄贈の「あしながおじさんプロジェクト」事業。また、東北被災地のために活動している春日井市内2団体への応援援助も行って参りました。この様に45周年記念事業が遂行出来るのも、歴代の会長始め先輩諸氏の素晴



らしいご功績と実績有つての事と、心より感謝申し上げます。次第です。

本年度、春日井ロータリークラブは、新しいメンバーを大勢、迎え入れる事が出来ました。私共クラブにとり、名誉であり、かつ喜びであります。これからも新しいメンバー共々、クラブと地域の新たな発展に向かって頑張っていく所存でございます。

どうか今後とも、春日井ロータリークラブの活動に、ご理解とご協力を賜ります様に心よりお願い申し上げます。最後になりましたが、本日ご参加頂きました皆様方のご健康と、そして益々のご活躍とご発展を祈念致しまして本日の式典の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

ソングリーダー 副会長 太田弘道君



式典の開会の辞

実行委員長 名畑 豊君

本日は、お忙しいところこのこの式典のご出席いただきありがとうございます
ございました。ただいまから45周年記念式典を開始させていただきます。



来賓挨拶

春日井市長 伊藤 太様



春日井ロータリークラブが創立45周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、本日もご参会の皆様方には、日頃から春日井市政の発展にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴クラブにおかれましては、歴代会長の卓越したご指導の下、これまでに、市内の学校や各種団体と連携し、未来を担う子どもたちへの寄附や活動助成など素晴らしい事業を続けてこられました。また、国内外のロータリークラブとの連携を始め、最近では、フィリピンセブ島の小学校への水洗トイレの寄贈や、昨年11月の超大型台風ヨランダによる被災に対する救援といった海外での協力、支援活動のほか、東日本大震災により被災した高校生のための奨学金などにも積極的に協力されております。さらに、「万有引力の法則」を発見したニュートンの自宅のリンゴの接木を、昨年11月に東京の小石川植物園から本市の都市緑化植物園に寄贈いただいた際には、ひとかたならぬご尽力をいただきました。これもひとえに、屋嘉比会長の『ロータリアンとして、世界・地域に奉仕しよう』の方針のもと、個人ではできない奉仕を、ロータリー財団を通じて、世界・地域で様々な活動として実現されていることと深く感謝いたします。

さて、春日井市は昨年度市制70周年を迎えました。また、先日は本市の人口が31万人を突破するという嬉しいニュースもありました。現在は、着実に次の時代に向かって、新たな歴史を築くための一歩を踏み出しています。本市は、これまでに育まれた人のつながりや地域の絆を貴重な財産として、子どもから高齢者まで、誰もが心豊かに、誇りを持って住み続けることができる都市の実現を目指してまいります。

貴クラブにおかれましては、45周年という節目を迎え、結束をより一層強め、会員一丸となって活動されますとともに、本市の活力ある発展に更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、春日井ロータリークラブの更なる飛躍と、会員の皆様方のご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

春日井市議会議員 友松 孝雄様



ご紹介をいただきました市議会議員友松孝雄でございます。

春日井ロータリークラブ創立45周年記念式典が

挙行されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。このたび、春日井ロータリークラブが、めでたく結成45周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、昭和44年に結成以来、45年という年輪を刻まれてきたわけですが、この長い歩みの間、常にロータリー理念の高揚に努められ、輝かしい業績を挙げられましたことは、歴代会長をはじめ会員各位のご協力の賜物であると心から敬意を表します。

また、本市に対しましても、サボテン鉢植え大会やニュートンの林檎の木の植樹式の開催など、そのご貢献に深く感謝を申し上げる次第であります。昨今、一人ひとりの価値観が「多様化し、人のつながりが弱まっている中、人の命や尊厳がいつも簡単に脅かされる世の中となってまいりました。こうした中であって、ロータリークラブの理念を礎として、学びあい、助け合いながら地域奉仕の先頭に立ったロータリークラブの活動は、一層需要になってくるものと思っております。

会員の皆様におかれましては、「ロータリアンとして 世界・地域に奉仕しよう」のクラブテーマのもと、一層活躍されることをご期待申し上げます。

終わりに、春日井ロータリークラブが、ますます発展されますとともに、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。

春日井ロータリークラブ創立45周年祝辞

国際ロータリー第2760地区
地区副幹事 原田 保男君



春日井ロータリークラブの皆様創立45周年を迎えられ誠にありがとうございます。

私が春日井ロータリークラブさんの事を少し詳しく知りましたのは地区副幹事として昨年9月にガバナー補佐であります丹羽様と補佐幹事の大島様と一緒に訪問したのがご縁でした。

その時屋嘉比会長様は、今年度は創立45周年を迎えるにあたり、着々と準備を進めて参りました。クラブの総力を挙げて記念事業を実行し成功させたいと抱負を語られました。そして各委員会の皆様もその事業に合わせた計画を立てておられました。

青少年活動への助成と育成から地域の特産でありますサボテン教室や、ロータリーの森の整備等継続的な活動を試みえます。又、海外の恵まれない子供達のために、水洗トイレや足長おじさん事業など、実に多岐に渡る活動は、貴クラブの会長方針であります「ロータリアンとして、世界、地域に奉仕しよう」との想いを見事に実践されたものであります。

私達は月に一度は「奉仕の理想につどいし友よ」と合唱して、奉仕の理想と理念をテーマとして追究し、そしてそれを具体的に実践することが、求められております。

私は一人のロータリアンとして貴クラブから多くのことを学びとても爽やかですがすがしい気持ちで一杯であります。

最後に田中ガバナーからのメッセージをお伝えし締めたいと思います。「春日井ロータリークラブの皆様、ロータリーを実践し みんなに豊かな人生とそしてお一人お一人が輝いてこの一年を過ごされましたことに心から敬意と感謝を申し上げます。」

今後とも増々ご活躍と貴クラブのご発展をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

本日はおめでとうございます。

感謝状及び表彰

ニュートンの林檎の木の育成資金



ガールスカウト助成金



インターアクトクラブ助成金



米山記念奨学会への寄付



ロータリー財団への寄付



閉会の辞

副会長 大橋 完一君



懇親会

懇親会の開会の辞

実行委員長 名畑 豊君



本日はお忙しいところ、春日井ロータリーの45周年記念式典のご出席いただきありがとうございます。式典では、長い挨拶はしてはいけませんと言われていました。この場で、すこしだけ時間をいただきたいと思えます。

春日井ロータリーは45周年事業として多くのことを行いました。

記念事業の最長のものは、計画してから足掛け3年を超え実現いたしました。フィリピンセブ島の小学校への水洗トイレ寄贈です。

最短の事業は「ニュートンのリンゴの木」の植樹です。2013年6月4日に東京大学附属小石川植物園にニュートンのリンゴの木を分けていただくようお願いをして、同年、11月23日の植樹式まで6か月もかかりませんでした。これは、先ほど春日井市長のご挨拶にもありましたように、夢とロマンを各団体が共有し、「超我的奉仕」のおかげと思えます。

まだ、「あしながおじさんプログラム」のように継続中の事業もあります。

この春の宵のひとつ、春日井ロータリーの45周年の思い出を語りながらお過ごしいただきますようお願いいたします。

で 500 鉢を春日丘インターアクトクラブにお手伝いして頂き、無料で配布しました。

- ② 45 周年事業として、ニュートンの林檎の木の植樹式を 11 月 23 日に春日井市緑花植物園に於いて行いました。春日井 RC は、25 周年記念に、全国の RC に呼びかけ、各県の県木を送って貰い、市内の緑道の一部に植樹して、『ロータリーの森』を作らせて頂きました。今年で 20 年を迎えますが、ロータリーの森のシンボルの木にする為に、東京大学小石川植物園から、『ニュートンの林檎の木』を譲り受け、春日井市、市制 70 周年記念と春日井 RC45 周年記念として合同で植樹式を行いました。
- ③ 国際的な事業として、フィリピンセブ島の女子中学生に対して奨学金を出す、『あしながおじさんプログラム』を昨年より実施しています。優秀な女の子に、教育資金を奨学金として、援助しようと言う事で始めました。年間、日本円で¥25,000 円出せば中学の教育が受けられると言う事で、昨年は 8 名、今年は 9 名の女の子に、春日井 RC メンバーが一人に一人、個人のポケットマネーで、奨学金を送り、一人 2 年間、援助しています。
- ④ 45 周年の最大の事業として、フィリピンセブ島、シモンアユダ小学校に水洗トイレの寄贈する事業を行いました。小学校の隣に日本人の事務所が有り、自分達の飲み水を確保する為に、井戸を掘った所、多くの水量が出て来た為、自分達だけで使用するのはいらないと思い、隣の小学校のトイレを衛生面を考え水洗トイレに、したらどうかと市役所に持掛けたが、予算が無いと言う事で却下され、当クラブの昨年の名畑会長が、現地に工場があると言う事で相談され、春日井 RC で援助する運びになりました。建設費用は、400 万円ほど係りました。この小学校には、1,800 人の児童が居り少々、小さいですが昨年の秋には完成して喜んで使用しています。2 月 16 日～19 日に、15 名で水洗トイレの寄贈式とあしながおじさんプログラム トイレのメンテナンスをお願いする、セブ RC とマニラ、サンマルセリーノ RC の 2 クラブと友好 RC の締結に行ってまいりました。寄贈式には、当地の市長も同席され、小学校の児童と、あしながおじさんプログラムに支援している奨学生 17 名に熱烈的な歓迎を受けてまいりました。

アトラクション 転輪太鼓



転輪太鼓の東北さくら植樹支援金贈呈



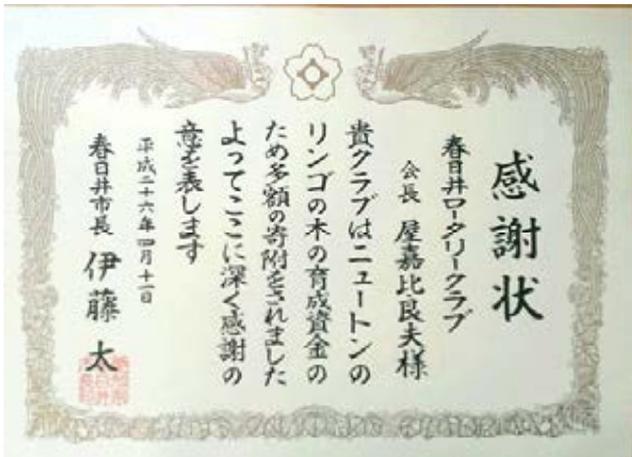
「手に手つないで」



閉会の辞 パストガバナー補佐 清水 勲君



この度、45周年の式典に春日井市長 伊藤 太様を初め、東尾張分区並びに、地域で御活躍されてみえる団体の長の皆様が、お祝いに駆けつけて頂き、有難う御座いました。
春日井ロータリークラブも 50周年 100周年と未来に向かって、地域社会の皆様へ、お役に立つロータリークラブとして、飛躍すると同時に、ご列席の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして、閉会のご挨拶と致します。
本日は、誠に有難う御座いました。



春日井ロータリークラブ
45周年記念事業



春日井ロータリークラブ45周年記念事業
サポテン鉢植え大会



2013年11月2日(土)「福祉のつどい」(春日井市総合福祉センター)において、第2回「サポテンの鉢植え大会」を行いました。昨年度は午前中の2時間あまりで予定数を上回る200鉢が終了した為、本年度は前年度より多い900鉢を用意し実施しました。また、今回は協力者として、後藤サポテン様、ロータリーから春日丘インターアクトの応援もお願いしました。当日は春日井ロータリーは例会変更を行ないました。慣れない手つきで春日井ロータリーのメンバーも鉢植えを入れるカゴを一生懸命に作成しました。自分が鉢植えしたサポテンを毎日見ることにより、育てる喜びを感じていただき、且つサポテンは春日井市のシンボルでもあることから、春日井市への愛着を持ち、細土愛が生まれて来るのではないかと期待しております。



Photo: 第2回サポテン鉢植え大会 (2013年11月2日)



春日井ロータリークラブ45周年記念事業
ニュートンのリンゴの木(植樹式)

2013年11月23日(土)「都市緑化植物園」(春日井市)において、英国の物理学者「アイザック・ニュートン」が万有引力に気づききっかけになったといわれるリンゴの木の子孫の苗を植える植樹式を行いました。



春日井ロータリークラブ45周年記念事業
ニュートンのリンゴの木(植樹式)プレートイメージ

ニュートンのリンゴの木
Make domestic Saplings of Flower of Kent
ケントの花 葉緑品種 パウチ



アイザック・ニュートンは、イギリスの物理学者で、自分の生まれた家のリンゴの木から、リンゴが落ちたを見て「万有引力の法則」を発見したといわれています。
そのリンゴの木を「ニュートンのリンゴの木」といわれ、枝を技術した苗木が1984年(昭和59年)に日本へ送られ、東京大学附属小石川植物園で大切に育てられました。
このリンゴの木は、小石川植物園から「子と孫に多量に育てられ、科学の心を育てるといふ目的のために、特別に分譲された「ニュートンのリンゴの木」の苗木を「分譲」です。
設立45周年を迎える春日井ロータリークラブのご協力「春日井市45周年記念事業」として植樹しました。春日井市の貴重な財産として皆さんと一緒に大切に育てていきたいと思います。

2013.11.23

上記の文は、ニュートンのリンゴの木の看板(春日井市作成)の文章です。このプレートは春日井ロータリーが作成し春日井市に寄贈しました。ここには春日井ロータリーがニュートンのリンゴの木を春日井市と共同で行なったと明記されています。



ロータリーの原点・奉仕について共に考えよう！

ロータリーを楽しむ年にしよう

仲間を増やし、思いやりの心を育もう

ロータリーの奉仕の原点に戻ろう

